

# 燃料電池モビリティ普及に向けた技術支援

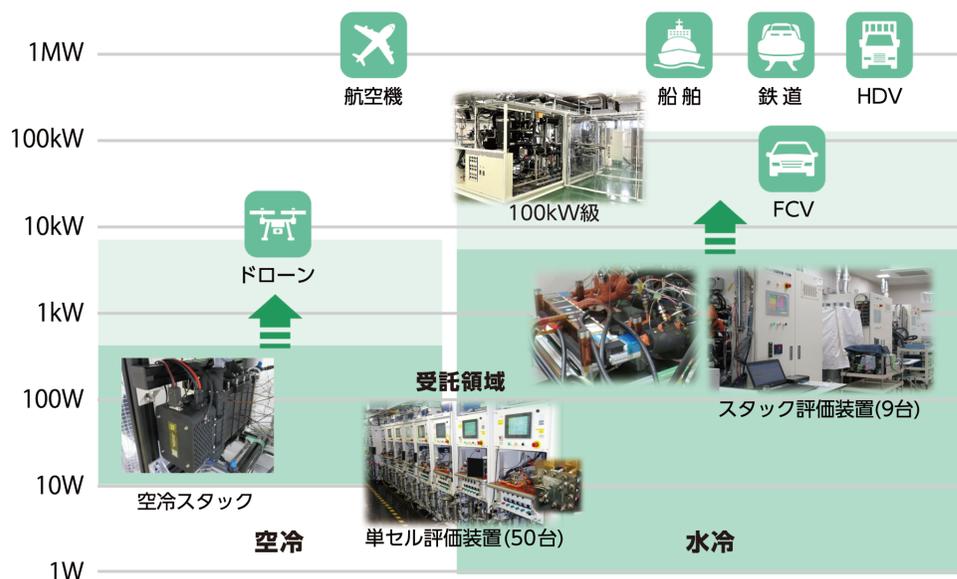
2030年から本格普及が期待されるFCV・HDV等の燃料電池モビリティの開発に向けて、単セルから100kW級スタックの評価までサポートします

## 背景・課題

お客様の課題解決に向け、提案・試験・解析など多角的なサポートを行います

- PEFCを開発する上で、デバイス（単セル・スタック）としての特性を評価するための技術者や試験設備などのリソース確保や、技術蓄積が大きな課題です
- KRIでは、PEFC評価のリソース拡充や長年の受託評価を通じて培った解析技術により、お客様が求められる条件を実現可能な試験体制を構築しています

### 燃料電池モビリティマップ



### 水素供給設備



貯蔵量: 5800m<sup>3</sup>

## ご提案

標準試験から、燃料電池モビリティの実環境を模擬した試験まで対応します

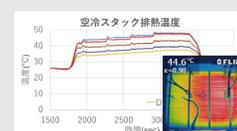
### 燃料電池モビリティを想定した特殊環境試験

- HDVに求められる120℃での作動温度を想定した高温特性試験が可能です
- 寒冷地(-30℃)での起動や温泉地などの走行による不純物被毒を模擬した特殊環境での試験が可能です

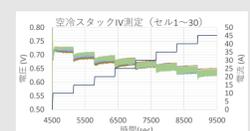


### 空冷方式スタックの各種評価

- 空冷方式スタックの単体試験から、システム動作解析まで幅広く対応可能です



システム動作解析



スタック単体試験

一緒なら、  
見つかる  
答えがある。

**KRI**  
Your Innovation Partner

株式会社KRI  
fc\_kri@ml.kri-inc.jp



日本語版